

令和4年6月号

うつみ進学塾

東雲(しののめ)

vol.39(280)

6月になりました。今月号はふと気が付くと30日になっており、久しぶりに慌ててお手紙を作ることになってしまいました。何をするのにも余裕を持つのは大切です。



5月の終わり・・・そろそろ梅雨入りかな？と、思っていると、週末になって真夏を思わせるような気温になりました。田んぼにも水が入って田植えが終わり、梅雨に入って夏を迎えます。塾では、今年から蟹江中学校が二期制になったこともあり、5月の終わりから、期末試験が終わるまでずっと試験が続くことになりました。みなさんは自分のテストに併せて上手にテストセミナーを利用するようにしてください。

さて、中間テストが終わった人は、新学年になって最初の結果はいかがだったでしょうか？ 早い学校ではそろそろ結果表や答案も返却されはじめています。学校の先生から返却された答案は、いつものことではありますが塾に持ってきて私たちにも見せてくださいね。一緒に勉強したところは出来ていたかどうかなど、これからの指導にも役に立ちますのでよろしくお願いします。例えば、もし新学期すぐに勉強したはずのところがテストで出来ていなかったりした場合、それはテスト勉強に対する取り組みが甘いということを示しています。一度できたはずのところで点数が取れないということは本当にもったいないことです。ここまで読んで、「自分もそうだ・・・」と感じた人は、より注意深く、また時間をかけてテスト勉強に取り組むようにしましょう。

これから中間テストを迎える人は、当然ですが今までのテストよりも範囲が広くなります。まずは課題をしっかりと片付けて自分の弱い所の補強に努めましょう。

現中三生から新しくなる愛知県公立高校入試について、いくつかの新しい発表がありました。まずは、一般選抜試験において、すべての公立高校で課せられてきた面接試験について実施するかしないかの各高校における決定。そして、一般選抜における校内順位の決定方式の公表がありました。

発表の概略をまとめさせていただくと、私たちに該当する尾張学区では面接を実施する高校が8校で、実施しない高校が59校となりました。

校内順位の決定方法は、新たにIVとVの方式が加わりました。IVは(内申点×2+学力検査(当日点))で、Vは(内申点+学力検査×2)です。



私たちの尾張学区の普通科では、Ⅰが12校 Ⅱが3校 Ⅲが26校 Ⅳが0校 Ⅴが26校となっています。

専門学科・総合学科では、Ⅰが43校 Ⅱが20校1校舎 Ⅲが8校 Ⅳが13校 Ⅴが7校です。ただし、この中には三河学区の高校も含まれています。

また、先月のお手紙で紹介しました「特色選抜」を実施する高校についての入学検査の内容についての公表がありました。「特色選抜」とは、高校や学科の特色を生かした新しい選抜方法で、令和5年度入学者選抜より一部の高校・学科で実施されます。

入学検査は面接を必須とし、そのほかに作文、基礎学力検査、プレゼンテーション、特別検査(実技試験)のうち一つを実施となります。

令和5年度入学者選抜において特色選抜を実施する学校・学科数は77校1校舎、113学科です。

これらの発表の内容は、中のお手紙に詳細を入れておきますので、そちらで確認してください。また、不明な点等ありましたら何でもお聞きください。

6月中には、来年2月の一般選抜で行われるマークシート方式の採用についての詳細が発表される予定ですので、各中学校からの報告にも注意しておいてください。

すでに、中間テストがおわった学校では今月の終わりには期末テストが始まります。テストが終わったところだから、まだいいや♪ではなくて、気持ちよく夏休みを過ごすため、受験生は夏に飛躍するための第一歩として準備していきましょう。特に、今回のテストでまだまだ頑張れると感じた人は早めの準備を怠らないように！中学生はより多くの似た問題を解くことで記憶の定着を図りましょう。高校生は、テスト範囲の問題を計画的に繰り返し勉強していくことで片寄りなく学習していけるように努力していきましょう。



6月になり、梅雨入りするまでは気温差の大きい日が続くようです。新型コロナも小康状態??の中、体調を崩しやすい時期でもあります。毎日の体調管理に気をつけてうっとおしい梅雨を乗り切りましょう。

